

スポーツニュース フェアプレイニュース

JSPO
スポーツ
ニュース
2020年
1月27日発行
Vol.114

新国立競技場こけろ落とし、 天皇杯サッカー決勝開催



約1年の工期を経て昨年11月末に完成した東京の新国立競技場で、日本初めのスポーツ大会となるサッカーの第97回天皇杯吉田東洋子杯サッカー決勝が開催された。5万7000人の観衆が詰めかけ、激しい行なわれた。国立競技場は、今年夏に東京五輪・パラリンピックの開幕式をはじめ陸上などの全種目大会を開催する予定だ。

また、11日にはこの大会で選手権決勝が行われ、慶応大学対筑波大学が対戦。日本のサッカーを盛り上げるべく、早稲田が1-3で敗れ、11年ぶりに早稲田の旗が立った。



日本、W杯ジャンプ女子の団体で2位



ソチ五輪で銅メダルを獲得した女子ジャンプの日本代表は、ロシアで開催されたW杯の団体戦で2位入賞を果たした。女子ジャンプの日本代表は、ロシアで開催されたW杯の団体戦で2位入賞を果たした。



後援選手が好タイムをマークし、花入萌徳が賞状入り



新国立競技場の開場式に先立ち、社会福祉財団が後援する「CITIZEN triathlon」が開催された。女子トライアスロンでは、Aomori Risaが好タイムをマークし、花入萌徳が賞状入りした。



「MASO」若手向け「NF」向け フナレイ会議を同時開催



「MASO」若手向け「NF」向けフナレイ会議を同時開催した。この会議は、若手選手と経験豊富な選手との交流を促進し、競技力の向上を目指すことを目的としている。



スポーツニュース 第114号
2020年1月27日発行
〒100-8555 東京都千代田区千代田1-1-1
JSPO(公益財団法人 日本スポーツ協会)
https://www.jspon-sports.or.jp/
代表: 岸本信彦
〒100-8555 東京都千代田区千代田1-1-1

ライバルは互いを高め合う存在

野口啓代選手

野中生萌選手

野中生萌選手: ライバルは、互いを高め合っている。ライバルは、互いを高め合っている。ライバルは、互いを高め合っている。

野口啓代選手: ライバルは、互いを高め合っている。ライバルは、互いを高め合っている。ライバルは、互いを高め合っている。

野中生萌選手: ライバルは、互いを高め合っている。ライバルは、互いを高め合っている。ライバルは、互いを高め合っている。

野口啓代選手: ライバルは、互いを高め合っている。ライバルは、互いを高め合っている。ライバルは、互いを高め合っている。

東京オリンピックの代役に内定

山西利和選手は10月にカタールのドーハで行われた世界陸上選手権の20キロ競歩で、1時間26分34秒で金メダルを獲得。オリンピック(五輪)を含め、この種目で日本選手が表彰台に立つのは初めてで、山西選手は今年の東京五輪代役に内定しました。

競歩は、①片方の脚が必ず地面についている②この地面にける脚のひざが真すずに伸びていること③などの規則があり、違反を重ねると失格になります。実際、やがて

自分の環境に感謝し、挑戦し続けよう

目標から逆して計画を確立しなす

山西選手は中学校で陸上部に入り、高校の陸上部で先輩たちがやっている競歩に興味を抱いたのが、この競歩との出会いでした。放課後に1時間練習した後は、帰宅後は宿題などに向かい合う日々。高校3年の夏に競技活動が終了した後の半年間で勉強に専念し、難関の京都大学に現役で合格しました。

山西選手は「高校時代の練習時間は短かったが、逆に集中して競歩に専念することができた」と振り返ります。

山西選手は「JSPOのフェアプレイカ条では「感謝しよう」と

「感謝しよう」という言葉を大切にしています。

山西選手が高校3年の時に、東京での五輪開催が決定。その時から東京五輪を目指し、試行錯誤しながら練習に取り組みしてきました。

「大きな目標を設定し、その目標を達成するために、いつまで何をやらなければならないかを決め、逆算して計画し、確実にこなしていくことを実行してきました。」

「花」は「自分」に感謝し、自分自身を高めようという思いで、競歩に挑戦し続けようという目標を設定し、その目標を達成するために、いつまで何をやらなければならないかを決め、逆算して計画し、確実にこなしていくことを実行してきました。

フェアプレイインタビュー

山西利和選手

生年月日: 1996年2月15日
出身地: 京都府

世界陸上20キロ競歩で日本人初の金メダル

2020年1月27日発行 Vol.114

